

上空から 被災調査

被災地
支援



福岡空港(2016.4.26)

防災ヘリからリアルタイムで映像配信、早期対応の判断材料に

地震(前震)発生後、国土交通省の防災ヘリ3機(はるかぜ号、愛らんど号、ほくりく号)を被災地の上空に派遣した。防災ヘリから送られてくるリアルタイム映像が、被災状況の全貌を明らかにするとともに、自治体と情報共有を図ることで、早期対応の判断材料となった。



南阿蘇村(2016.5.17)



南阿蘇村(2016.4.17)



「はるかぜ号」機内(2016.5.17)